

# 河口域、沿岸海域の水環境の研究

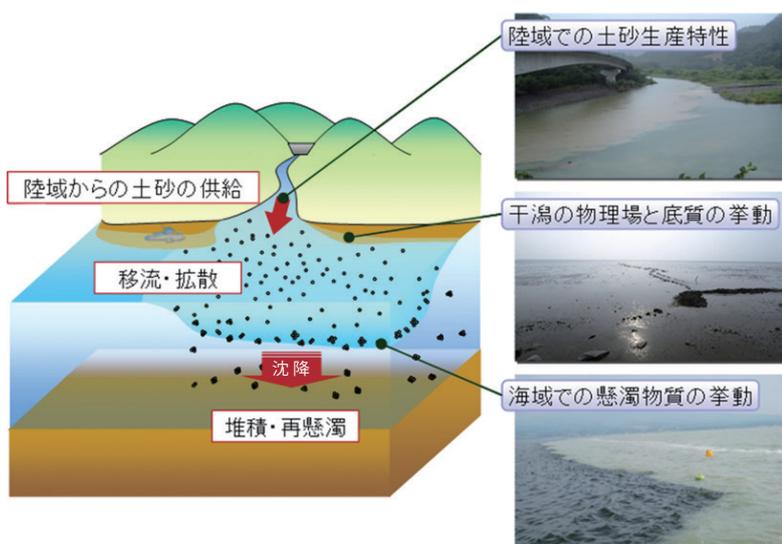
■ 社会環境学部 社会環境学科 准教授 田井 明

- 研究分野：防災工学、河川工学、沿岸海洋工学
- キーワード：沿岸海域、干潟、数値シミュレーション、地球温暖化

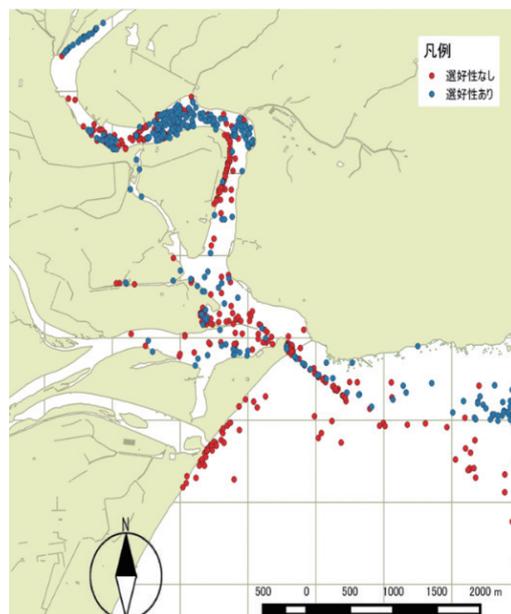
## Ⅰ 研究概要

現在、沿岸海洋では水質の悪化や水産資源の減少が生じている。さらには地球温暖化の進行により水環境は大きく変化していくと考えられている。沿岸海洋の水環境は潮汐・潮流・波浪などの流れやその流れにより移動する土砂や生物によって支配されている。

本研究グループでは、九州各地の内湾(有明海、八代海、博多湾など)や干潟を対象に、最新鋭の観測装置を用いた流動や水質の調査や数値シミュレーションを行うことで、環境変化のメカニズムや将来予測を実施している。



沿岸域の土砂の動態



カニの浮遊幼生の分布シミュレーション  
(宮崎県北川河口)

## Ⅱ 利点特徴

現地観測に基づき沿岸域のコンピューター上に再現することで、複雑な現象の解明を行うことができる。

## Ⅲ 応用分野

現在生じている水環境問題の解決だけでなく、地球温暖化後の沿岸海洋の適切な利活用のための重要な情報を提供する。

